

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社イトーヨーカ堂		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-8450 東京都千代田区二番町8番地8	
本票作成	部署名：明新メンテナンス株式会社（イトーヨーカ堂機械設備常駐管理会社）				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	百貨店				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	イトーヨーカドー岡山店		岡山市北区下石井2-10-2	
	②	食品館倉敷店		倉敷市寿町12番2号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス 排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	6,250 t CO ₂	7,615 t CO ₂	5,940 t CO ₂

主な工場等 の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	イトーヨーカドー岡山店	5,999 t CO ₂
	②	食品館倉敷店	1,616 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の 達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	△ 21.8 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準 の削減目標を 選択している 場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク 指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

計画時の基準年度(平成21年度)は、イトーヨーカドー岡山店の1事業所のみでの排出量でしたが、新店として平成23年度に食品館倉敷店が開店し、現在の排出量報告店舗数は2事業所となっております。計画時の岡山店のみでの排出量では基準年度に対し4%減となります。

また、基準年度の電気事業者排出係数に対して、平成25年度排出係数は約8%上昇しており、基準年度の排出係数を0.000674を用いて評価した場合は、平成25年度の排出量は5470tCO₂となり、約12.5%減の結果となります。

今後も照明にLED導入等の省エネ性能の高い機器の導入を検討する事によりCO₂削減に努めます。

【推進体制】

省エネ法に基づき管理体制のもと、毎月エネルギー使用状況を集計及び把握した上で、IY本部からの更なるエネルギーコスト削減の要請を受け店長指示のもとに於いて、副店長・総務マネージャー他各部所の案により節電を実施し省エネを推進しています。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
イトーヨーカドー岡山店 食品館倉敷	<p>(平成25年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店内照明点灯時間及び各給排気ファン稼働時間の設定時間の短縮変更および見直しの実施。 ・店内設定温度におけるこまめな変更・見直し及び端境期における長期外気冷房の取り入れ実施。 ・建物全体における更なる無駄な照明部分の見直しの提案及び削除。 ・各給排気ファン及び空調機ファン等に付設されているVベルトは、現在標準タイプを使用。交換時期ものに於いては随時省エネタイプ用Vベルトを採用。 ・店内空調機について開店中は連続運転となっておりますが、運転制御プログラムにおいて周期毎に停止となる間欠運転を実施。 ・夏期において、食品売り場の冷凍ケースによる室内温度低下の為、食品売り場階における空調機の停止を実施。 <p>計画時の上記運用対策は平成25年度も継続実施しました。 その他、温室効果ガス削減のための省エネルギー対策として独自の節電ガイドラインを設定し各店にて遵守しております。また、自社オリジナルのエネルギー一覧サーバーを開設し、本部による各店のエネルギー使用状況を週単位で把握し、他店比較や設備導入の検討に活用しております。</p> <p>設備導入対策として照明LED化を進めております。 (今後実施予定分) 店内照明LED化を進めると共に、更新時期を迎えた設備には省エネ性能の高い機器の導入を検討し採用していきます。</p>

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	有	イトーヨーカ堂はセブン&アイ・ホールディングスの事業会社として植林活動に限定することなく健全な森林づくりに必要な間伐や下刈り、樹種転換等の森林整備活動に積極的に参加しております。また、間伐による木質材をグループ内の店舗資材や事務備品として使用するほか、商品化することで国産木材の活用も推進していきます。

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	有	日照条件・立地を踏まえて太陽光発電パネルを大型商業施設アリオを中心に9店舗に設置、リアルタイムで発電量を表示しております。また、風力&ソーラー発電の外灯を大型店に積極的に取り入れております。

【その他特記事項】

当社の環境対策の取組については、ホームページにて公表しています。
<http://www.itoyokado.co.jp/company/profile/csr/environment/index.html>